

広島市植物公園 見どころ案内

レンブ (フトモモ科)

マレー半島原産の常緑樹。亜熱帯から熱帯で栽培されており、西洋ナシのような白色の果実をつけています。味はリンゴとナシをあわせたような感じで、生食できます。

パイナップル (パイナップル科)

熱帯アメリカ原産の多年草。果実がつき、少しずつ大きくなっています。

大温室改修のため休館中

リニューアルオープンは平成29年秋ごろです。(予定)

サガリバナ (サガリバナ科)

熱帯・亜熱帯に分布する常緑樹。日本には奄美大島などの川沿いに自生。花卉は淡紅色で香りを放ちます。夜に咲き、翌朝には落花します。午前中の早い時間なら見ることができます。

ヒガンバナの仲間

(ヒガンバナ科)
おなじみの赤いヒガンバナのほかにもクリーム色のシロバナマンジュシャゲ、黄色のショウキズイセンも咲いています。

カリガネソウ (シソ科)

東アジア原産の多年草。虫が花にとまる際、背中に花粉をつけ、次の花へ受粉するおもしろい仕組みになっています。紫色の清楚な花で、帆掛船に見立てて、別名は帆掛け草(ほかけそう)。

秋の七草

ハギ、キキョウ、オミナエシ、クズなどの‘秋の七草’のほか、マメ科の植物を見られる植栽にリニューアルしております。

キバナコスモスの迷路 (キク科)

メキシコ原産の一年草。オレンジ色、黄色の花が2,600本咲いています。品種はブライトライト。

ノアサガオのカーテン (ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで到達して、高さ10mの巨大カーテンとなっています。

季節の花さんぽ展

ボランティアが過去5年間に案内してきた「季節の花さんぽ」の内容を写真やパネルなどで紹介しています。
[展示資料館1階展示室にて ~9月15日(木)まで]

